

<p>当院は下記研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを望まない場合は、下記の問い合わせ先にお問合せください。</p>	
研究番号	—
研究課題名	九州沖縄における尿路変向の実態調査
当院の研究責任者（所属）	泌尿器科
他の研究機関及び各施設の研究責任者	副部長 梅津 大輔
研究の目的	本研究では尿路変向法選択の実態、それぞれに関連する合併症、及び術後1年までの腎機能の変化などを調査し、尿路変向に関する現状を把握することを目的とする。
調査データの該当期間	西暦 2019 年 1 月 1 日~2020 年 12 月 31 日
実施期間	承認後から 2025 年 3 月 31 日
研究の方法（対象となる方）	九州労災病院泌尿器科において 2019 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までに尿路変向を伴う膀胱全摘出術を受けられた 18 歳以上の方 13 名を対象とする。また、他の研究機関においても同期間に尿路変向を伴う膀胱全摘除術を受けられた方を対象とし、研究全体で 600 名を対象としている。
試料/情報の他機関への提供	九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野へ情報を提供する。
個人情報の取り扱い	研究対象者の血液や病理組織、測定結果、カルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者の氏名の代わりに研究用の番号を付けて取り扱う。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、第三者が立ち入ることができない九州労災病院内の場所で、専用 USB で保管管理する。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはない。
本研究の資金源	九州大学大学院医学研究院運営経費・講座寄附金
お問い合わせ先	九州労災病院 泌尿器科 副部長 梅津 大輔
備考	